

第1号様式（第8条関係）

事業計画書

事業名 (分野)	事業の概要 (目的、事業内容、実施予定期間、実施予定場所、参加予定者数を記入)
運営 (総務)	(目的) 協議会の運営を行う。 (事業内容) 各事業資料作成、会計事務 等 (実施予定期間) 年間
広報 (総務)	(目的) 協議会の活動を地域住民に周知・報告することを目的として、情報発信を行う。 (事業内容) - 各事業についてのチラシ作成 - 各種イベントにて広報ブースの設置。 - 広報誌作成、SNSでの発信、話し合いの場の開催等 (実施予定期間) 年間
海岸清掃 (生活環境)	(目的) 地域や三重小学校と一緒に、三重地区の豊かな自然と美しい景観を一人ひとりが責任をもって守り、ごみを捨てない意識、捨てづらい環境を作り、次世代に引き継ぐ。 (事業内容) 毎年実施している海岸清掃を行うとともにさらに輪を広げ、三重小学校とも協力し、清掃を実施する。 親も子も、おじいちゃん、おばあちゃんも楽しめる活動にする。 【実施例】 海岸清掃 環境講話 つみれ汁振る舞い (実施予定期間) 年1回 (実施予定場所) 三重地区： 三重海岸、みなと公園周辺 檜山地区： 檜山海岸 (参加予定数) 三重小学校 380人（児童・保護者・職員） 三重地区 80人 檜山地区 30人
河川清掃 (生活環境)	(目的) ホタルが飛び交う美しい自然豊かな杉谷川を守るため、三重田自治会が取り組んでいる河川清掃への参加を地域に呼びかける。 (事業内容) 河川の清掃の実施（7月頃）やホタルの観察会（5～6月頃）を実施し、きれいな川にしかホタルは生きられないなど、自然環境が大切なことを学ぶ機会とする。 (実施予定期間) 年間数回 (実施予定場所) 三重田地区： 杉谷川流域 (参加予定数) 三重田町地区 50人、三重地区住民 30人

農業体験 (子育て)	(目的) 次の時代を担う子どもたちに、農業の大切さ、楽しさを伝え、農業に携わるきっかけを作るための農業体験を行う。 (事業内容) 三重小学校と地域が連携し、地域農業者からの手ほどきを受けながら、子どもたちが授業の中で年間を通して「イモ」と「コメ」の栽培に挑戦する。 子どもたちには、苗作りから収穫までを体験することにより食物の生育や、収穫の喜びを体験してもらう。 収穫したものが子どもたちの口に入るまでを体験させるため、収穫祭を開催する。 (実施予定期間) ＜コメ作り＞ 5月 種まき 肥料散布 代かき 6月 田植え 7月 除草 10月 稲刈り 脱穀 もみすり 12月 収穫祭 餅つき ＜イモ作り＞ 4月 イモ床作り（種イモを植える） 5月 苗の植え付け 6月 除草 追肥 土寄せ つら起こし 10月 収穫 イモ掘り、カンコロ作り 12月 収穫祭 餅つき (実施予定場所) 民間より借り受けた「学校農園（畑及び水田）」及び三重小学校内学校園 (参加予定数) 三重小学校児童・職員・保護者 300名 地域住民 50名
防災 (安心安全)	(目的) 子どもから高齢者まで安心・安全に住み続けられる「まち・ひと」を作る。 (事業内容) 自治会、老人会、民生委員、婦人防火クラブ等への協力呼びかけを行い、三重地区内消防団及び北消防署と連携し、防災について考える機会を作る。 ・ 安全な道、場所のウォークラリーの実施 ・ AED講習会等の実施 ・ 防災体験、非常食試食体験等の実施 ・ 過去の風水害の講話などの実施 (実施予定期間) 年間数回 (実施予定場所) 三重地区公民館、三重小学校、三重みなと公園等 (参加予定数) 地域住民 200人

移動支援・ 買い物支援・ コミュニティバスの検討 (生活環境)	(目的) 近年、特に喫緊の問題である公共交通機関の便の減少による移動困難者の現状把握を行う。高齢者から子どもまで三重地区内で必要な移動ができるよう、交通システムの支援体制の構築や必要な支援の体制づくりの検討、また地域の情報が必要な人に届く体制づくりの検討を行う。 (事業内容) ・三重地区内の地域住民の移動困難（買い物や通院など）の現状把握のための取組み。 ・地域の移動支援情報を必要な人へ届けるための体制づくりの検討。 ・コミュニティバス（移動支援）の運行実現に向けた他団体との連携の検討。 (実施予定期間) 年間 (実施予定場所) 三重小学校区、三重中学校区
伝統芸能の継承 (伝統歴史)	(目的) 三重の伝統と歴史を大切に育み、次世代に継承するとともに、輪を広げ、活力ある豊かな街にする。 子どもや住民、転入者などに三重小学校区の伝統芸能である浮立や龍踊り、盆踊りなどの練習を実施し、三重小学校の運動会や自治会の盆踊り大会、三重くんち、郷土芸能大会などの発表の場につなげていく。 継続した練習の機会を日常に取り入れることで、伝統芸能に触れる機会を増やし、継承を促す。 (事業内容) 住民（子どもや転入者を含む）を対象に地域の伝統芸能を継承するための講座等を実施する。 (実施予定期間) 年間 (実施予定場所) 三重小学校、三重地区公民館、三重みなと公園、檜山公園等
三重地区体育祭 (伝統歴史)	(目的) 三重地区住民の交流・融和を図り、地域が一体となった新たなまちづくりに繋げるため、体育会が中心となり3地区協議会と連携・協力して三重地区体育祭を開催する。 (事業内容) 三重地区体育祭は、65年の歴史を持ち人々の繋がりや地域のまとまり、活性化に大きな役割を果たしてきたが、三重地区の人口増加が進む中で参加自治体を広げることが出来ていなかった等の課題を抱えていた。このため、令和7年度から「みんなでつくろう!笑顔のふるさと 三重新時代」という体育祭の新たなスローガンを設定し継続することに至った。 (実施予定期間) 体育祭 年間1回 10月 (実施予定場所) 三重みなと公園 (参加予定者数) 体育祭3,000人

**軽スポーツの推進
(地域振興)**

(目的)
地域内の健康寿命を延ばすため、軽スポーツの推進活動を多世代交流しながら進める。

(事業内容)
軽スポーツ体験会を行い、軽スポーツが徐々に地域内で継続的な活動となるようにサポートする。

(実施予定期間)
軽スポーツ推進活動 年数回

(実施予定場所)
三重みなと公園、地域の公園やグラウンド

(参加予定者数)
軽スポーツ推進活動 のべ50人